



地方独立行政法人
那覇市立病院

梯きざし

2015.8
Vol.

27

歯科口腔外科特集

<http://www.nch.naha.okinawa.jp>

「しかこうくう歯科口腔外科」とは

はじめに

口腔外科は、こうくう口腔（口のなか）、あご顎（あご）、か顔面ならびにその隣接組織の疾患を扱う診療科です。この領域の疾患は、食事や発音・会話が上手くできないなどの機能障害、顔や口元の見え目の変化（審美障害）をひき起こします。

治療により歯・口腔・顎・顔面全体の自然な機能や形態の回復をお手伝いするのが、「歯科口腔外科」です（日本口腔外科学会ホームページより抜粋、改変）。

具体的にいうと…

● 歯の疾患

まいやくし埋伏歯…歯が埋まっている。
はせう破折…転んで歯が折れてしまう。
だつきゅう脱臼…歯が抜けた。

● 炎症性疾患

虫歯や歯周病が進行し、あごが腫れる。

● 外傷性損傷

唇が切れる。歯肉が切れる。
顎の骨が折れる。

● 腫瘍

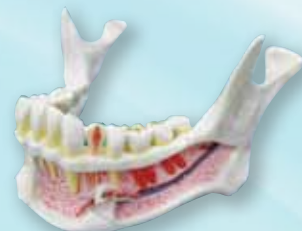
口の中にデキモノが出来る。
しこりがある。

● 顎変形症

受け口、顎が小さい、顔がゆがんでいる。

● 顎関節疾患

口を開けるとジヤリジヤリやカクン等と音がする。口が開かない。



医療特集



なかもり けんじ
仲盛 健治
那覇市立病院 歯科口腔外科医
医学博士
日本口腔外科学会 専門医・指導医
がん診療認定医(歯科口腔外科)

● 口腔粘膜疾患

口内炎が治らない。舌がただれている。
ヒリヒリする。

これから、特に当科に紹介されること
多い病状について、より詳しく説明して
いきます。



表 1 :那覇市立病院 歯科口腔外科で扱う疾患について

	症 状	当科の主な治療法
歯の疾患	歯が埋まっている症状。 (保存不可能な)う蝕や歯周病	抜歯
炎症性疾患	う蝕、歯周病の進行で顎が腫れる。	薬物療法、外科的消炎
外傷性損傷	唇を切った。歯肉を切った。顎の骨が折れた。	縫合、整復、固定
腫瘍	口の中のできもの、しこりがある。	切除、薬物療法、放射線治療
顎変形症	受け口。顎が小さい。顎が歪んでいる。	外科的矯正手術
顎関節疾患	口を動かすと雑音がある。口が開かない。	保存療法、理学療法、生活指導
口腔粘膜疾患	口内炎が治らない。ただれている。	薬物療法、刺激除去
神経性疾患	舌がヒリヒリする。顎がしびれる。	薬物療法、刺激除去

①埋伏歯

歯がちゃんと生えない・埋まっているなど、正しい位置に歯が出てこない場合、その歯や隣の歯のう蝕(虫歯)の原因となったり、周囲組織の炎症を引き起こすことがあります。とくに親知らず(第三大臼歯)は、生えるスペースが少ないことから歯の一部または全部が歯肉の下に埋まったままとなり、炎症の原因となります。その根本的な治療として、抜歯が必要となります。歯肉に埋まった歯(埋伏歯)の抜歯は、歯肉を切ったり(歯肉切開)、骨を削ったり(骨削除)、時には歯の分割が必要となることがあります。

下あごの親知らずは顎の骨の中を走る神経(下歯槽神経)と近くなっていることが多く、時にはCTスキャンで3次元的な位置関係を把握し神経損傷のリスクを評価した上で術式を選択します。

②抗血栓療法中の患者の抜歯

高齢化社会となり、加齢性変化や生活習慣病などを背景とした慢性疾患が増加しています。現在わが国での脳梗塞や心臓の疾患などで抗血栓療法(血液をさらさらにする薬の治療)をうけている人は約300〜350万人と推定されています。この治療を受けている患者さんの抜歯には特別な配慮が必要です。

薬を中断しても出血リスクが大きく変わらないうえ、むしろ薬を中断することでさまざまな合併症がおこる危険性が高まることから、「抗血栓療法を継続したまま



図 1 :診療の様子



図 2 :止血用保護床

で口腔内の外科処置を行う」事とし、止血用保護床（床副子）などをあらかじめ準備して処置に臨んでいます（図2）。抗血栓療法を行っている患者さんの術後出血の割合は 1.5 ～ 12 % 程度とされ 2012 年の Eichhorn さんの報告では、抗血栓療法継続下に 637 例、934 部位の口腔外科処置を行い、処置後の異常出血は 47 例 7 % でした。

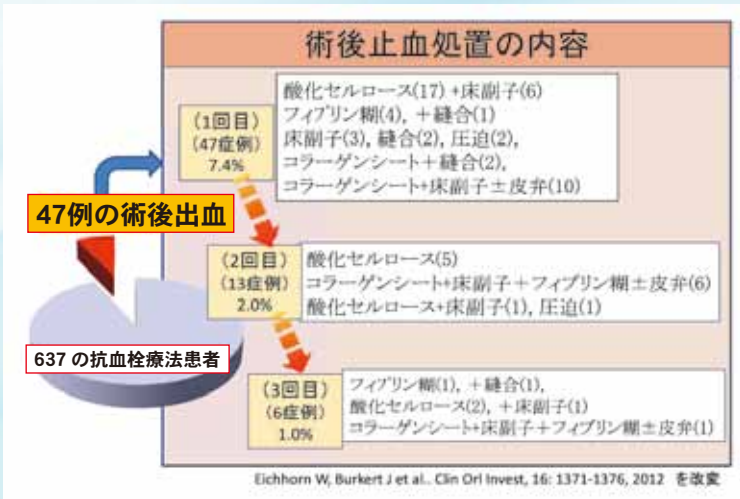


図 3 :出血に対する処置

これらに対する処置は縫合、局所止血材の使用、圧迫、床副子の使用などで、すべて局所的対応がなされています（図3）。抗血栓療法を行っている患者数は、今後も増加することが予測されます。我々は内服薬の中止や減量などで患者さんの塞栓性合併症のリスクを上げないためにも、局所的処置で止血処置を完了できるように様々な準備をしています。

③がん治療の支持療法としての口腔管理

口腔衛生状態を管理する事は、手術、抗がん剤治療、放射線治療などの各種がん治療の副作用・合併症の軽減や予防につながります。さらに、口腔衛生状態の不良により口内炎や菌性感染症が発生し、時にはがん治療の減量、中断・中止につながる可能性があります。がん治療を安全かつ効果的に行うためにも、良好な口腔衛生状態を保つことの重要性が注目されています。さらには、口腔内の環境によっては、食事しづらい、飲み込みにくいなどの栄養摂取障害につながることもしばしば見受けられます。口腔衛生管理（口の中をきれいにする、清潔を保つ）、や口腔機能管理（食べにくい、飲み込みにくい原因を考え対処する）をすべて包括する口腔管理（Oral Management）を担う多職種共同チーム（Team for Oral Management 略称・TOM）の一員として、私たち歯科口腔外科は、口腔のスペ



図4：那覇市立病院 歯科口腔外科外来スタッフ

チャリストとして入院患者、通院中の患者さんの口に関する様々な問題に対処するように心がけています。(図4・5)

④薬剤関連顎骨壊死

これは2003年に、アメリカのマイアミ大学のMax教授が報告した新しい病気です。ビスフォスフォネートという薬剤(骨粗鬆症や癌の骨転移に有効)を使用している患者さんの顎の骨の一部が腐って(壊死して)、露出してくることがあります。始めは、ビスフォスフォネート薬剤関連顎骨壊死といわれていました。最近になってビスフォスフォネート以外の骨吸収阻害薬や血管新生阻害薬を使用している場合でも同様の症状が報告されてきました。そのため、薬剤関連顎骨壊死Medication Related Osteonecrosis of the Jaw (MRONJ)と表記されるようになってきました。



図 5 : 歯科衛生士による入院患者の口腔ケア風景

これらの薬剤を使用している、すべての患者さんに起こる症状ではなく、またその発生機序も不明な点が多いのですが、拔牙や口の中の傷（義歯がこすれてできた傷など）等が関連するようです。これら薬剤使用前に、口の中をよく調べ、環境を整えること、また、薬剤使用中の注意深い観察

によって顎骨壊死の発生リスクを抑えることが重要になります。ひとたび顎骨壊死をおこした場合（図 6 a・b）、薬物療法や時には積極的な外科療法で壊死の範囲の拡大や周囲組織の炎症の波及を最小限に抑えるよう対応しています。

終わりに

一般的なイメージの「歯医者さん」は、う蝕や歯周病、入れ歯の治療が主な治療対象と捉えられているものと思います。

しかし、医療技術の進歩や生活の多様化がすすみ、顎顔面領域の多様な疾患もさることながら、他の領域にみられる各種疾患と口の中の状態が密接に関わり、口腔管理の必要性が今後さらに大きくなっていくと感じています。

我々歯科口腔外科は、歯や歯周組織のみならず、顎、顔面、口腔のスペシャリストとして、疾患の予防、早期発見、治療、機能回復など、あらゆるニーズに対応することを目標として日々の診療に向き合っています。気になることがありましたら、お気軽に歯科口腔外科外来までお問い合わせ下さい。



図 6-b : 薬物関連顎骨壊死の病態



図 6-a : 薬物関連顎骨壊死の病態

♪ 那覇市立病院はこのプロジェクトに賛同しています♪

→ 絵本が寄贈されました。



Re:TOOTH (リ・トゥース) プロジェクトとは？

病院で治療して回収した歯を「一般社団法人KIFU」へ寄付。それをリサイクルすることで活動資金とし、病気で入院している子どもたちへ贈り物を届ける。



【選択寄付活動】らくがきTシャツ工展

入院中の子どもたちが、例で遊べない、お友達にも会えないなど、寂しい思いをしている中、少しでも元気になってほしいという思いからイベントが企画されたと聞きます。その中でも「らくがきTシャツ工展」は、親子でお絵かきをして、それを基にTシャツに描かれるなんて、とても楽しいイベントだと感じました。そのTシャツが手元に届ったときの「子どもたちの笑顔」が見られる素晴らしいアイデアだと感じています。親子でベアケツ賞も愛らしいですね。



← 子どもたちが書いたイラストがTシャツに →



ブックワゴンが届く→



← 歌手による「うたの宅配便」



当院より寄付した歯→



ホームページ <http://www.retooth.org>

お薬手帳のおはなし

1) お薬手帳を知っていますか？持っていますか？

お薬手帳とは、自身が使用している薬の名称・使用方法・日数の記載、またはアレルギーや副作用などを記録するための手帳です。

元々は一部の医療機関や調剤薬局のサービスとして開始されたお薬手帳ですが、現在では国の制度として運用され、広く普及されてきました。平成 23 年に起きた東日本大震災時には、医療インフラが絶たれ、カルテや薬歴などの情報が失われた中、お薬手帳の活躍により適切な薬品供給が行われました。その経験からもお薬手帳の評価が高まり、改めて活用意義が明らかになってきています。



《手帳の記載内容》

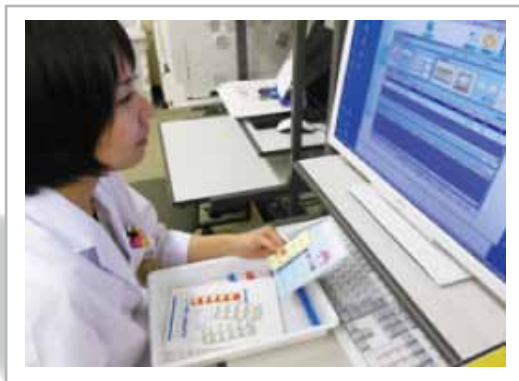
- ・調剤日
- ・薬剤の名称
- ・用法用量
- ・服用に際して注意すべき事項

(重大な副作用又は有害事象等を防止するために特に患者が服用時や日常生活上注意すべき事項、あるいは投薬された薬剤により発生すると考えられる症状)

2) 当院でのお薬手帳活用方法

◎病棟での持参薬確認、退院時の情報提供

入院される患者さんの中には、他院で処方された薬を持参する方も多く、内服状況の把握やアレルギー、副作用、OTC 薬の使用有無などを確認する事で、入院後のスムーズな薬品管理に繋がっています。退院時には、入院中の使用薬剤や変更点、副作用が起こった場合の経過などを記録し、お薬手帳を通して、かかりつけ薬局へ情報をフィードバックしております。



◎入院準備センターでの検薬

薬局の隣に設けられている入院準備センターでは、予定入院される患者様の事前案内の一つとして、薬剤師によるお薬チェックを行っています。手術や検査に備えて、事前に中止する必要のある薬を確認して説明など行っています。



3) お薬手帳の役割を最大限発揮できるように

お薬手帳を確認するとき、医療機関ごとや薬局ごとに手帳を使い分け、お薬手帳を何冊も持っている方がいらっしゃいます。お薬手帳の活用メリットでもある、医師・薬剤師による薬の重複防止、飲み合わせのチェック、副作用やアレルギー歴などを確認し防止、旅行や災害、急な体調不良時の信頼性のある情報提供手段として役割を最大限発揮するためにも、お薬手帳はひとつにまとめ、受診の時には一緒に提示することが大切になります。



お薬手帳はあなたと治療をつなぐ大切なツールの一つです。
「お薬手帳は1人一冊！保険証と一緒に！」
覚えてくださいね♪



活用メリット

- ①薬の重複を防ぐ
- ②飲み合わせのチェック
- ③副作用やアレルギーを避ける
- ④緊急時の正確な情報手段

NST（栄養サポートチーム）講演会を開催！

2015年6月26日、藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座教授「東口 高志先生」をお招きし、『がん終末期の栄養管理』を演題としてご講演頂きました。東口先生のご講演は2011年5月に続き2回目となりますが、院内外から194名（院内73名・院外121名）と多くの方がご参加下さいました。

東口先生のご講演は、院内業務に留まらず地域連携による栄養管理、食を通して人生について考える機会となりました。また、講演会終了後の懇親会では、東口先生の医療を超えた好奇心に感動を覚えました。講演後のアンケート結果では、「病気の治療を超えて生きている意味を考えさせられ大変感動しました。」「NSTの重要性を再認識できた」「那覇市立病院が沖縄NSTの中核になって欲しい」等々、貴重なご意見を多く頂きました。講演を引き受けて下さった東口先生をはじめ、共催会社にも大変感謝しております。

さて、当院のNST（栄養サポートチーム）は2005年に誕生し、今年で10年目を迎えました。節目の年ということ、また「NST 専門療法士臨床実施修練施設」となった記念の年でもあります。栄養に携わる職種として責任とやりがいを感じる講演内容に、これからも食や栄養を通して皆様の幸せに貢献したいと思います。

〔栄養室長〕

⇒東口先生を囲んで
（懇親会の様子）



がんだけでなく高齢化も見据え、
『いきいきと生き、幸せに逝く』ために栄養管理を
駆使した社会福祉体制を、如何に構築するかについて
一緒に考えてみたい。

<がん終末期の栄養管理について>

- ①がん治療に伴う生体侵襲に対する代謝学的緩和を目指した栄養管理
- ②がん自体の進行に伴う悪液質などによるサルコペニアの進行を抑制する栄養管理
- ③終末期におけるエネルギー消費量の減衰、インスリン抵抗性の増悪、蛋白合成の低下などの終末期の代謝学的病態や患者環境、倫理観を配慮した栄養管理
- ④食、特に“食力”を駆使して生活の質（QOL）を人生の最後まで担保、維持する社会的な栄養管理

看護週間 2015

「看護の心をみんなの心に」

近代看護を築いた「フローレンス・ナイチンゲール」の誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」に制定されました。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう1990年に制定されました。

そこで、今年も全国各地で様々なイベントが開催されたようですが、当院では「知って得する予防・看護」を看護師がお答えします」をテーマに、5月11日から5月15日の期間中、1階ロビーにて看護展を開催しました。

今年の看護週間は、ゴールデンウィーク中に新電子カルテの導入や、季節外れの台風5号の直撃もあり、病院中が雑然とし、混乱の真っ只中でした。



そのような状況の中、各病棟の担当者が会計待ちの患者さんや、付添家族に声をかけ、活躍してくれました。その中で「睡眠時無呼吸症候群と心不全」について展示した、4階西病棟と慢性心不全認定看護師の與那原さんのブースは大盛況でした。日頃から気になっているイビキや睡眠中の無呼吸について

て熱心に質問している姿がありました。また、睡眠時無呼吸症候群の治療に使われるC・P・APを体験するコーナーでは、多くの方が実際にマスクを装着していました。それ以外にも、看護に関連した外来関連部署の紹介や手術までの流れ、口腔ケアの大切さ等、各部署の工夫を凝らした展示



で見応えがありました。アンケート結果でも、「担当者の説明がわかりやすい」「生活習慣の改善をしたい」という声を頂き、当院の看護を知って頂く良い機会になったと思います。来年の看護展も趣向を凝らし開催していきたいと思



訪れる事が出来なかった皆様、来年こそ是非お立ち寄り下さい。最後に、開催に際してご協力頂いた皆様に心から感謝申し上げます。来年も素晴らしい看護週間を創っていきま



地域医療支援病院運営委員会開催

平成27年6月25日(木)に 地域医療支援病院運営委員会が開催されました。

当院は平成22年10月に地域医療支援病院に承認されており、運営委員会は定期的開催する事となっています。

今回は外部委員の変更が3名あり、委嘱状の交付後、平成26年度の連携実績の報告、意見交換を行いました。

出席頂いた外部委員に皆さんから患者さん受入れ体制のご意見や、紹介状持受診の必要性等再確認、病診連携を含めた各種連携について活発な意見が交わされました。

今後ますます重要性が高まっていく地域医療連携。皆さまの意見も参考に、これからも地域に根差した医療を行っていききたいと思います。

【新委員紹介】

川満 直紀 (那覇地区薬剤師会長) 大城 弘明 (那覇市健康部長) 徳元 律夫 (那覇市消防局長)



泌尿器科の体制が変わりました



平成27年7月より泌尿器外来において「大城 拓磨」医師が着任しました。これに伴い、外来診療体制体制が変更になりましたのでお知らせ致します。また、泌尿器科外来は**完全予約制**となっています。

事前に医療機関の方からの予約取得をよろしくお願い致します。

おおしろ たくま 大城 琢磨 平成13年3月 琉球大学医学部卒
泌尿器科学会 泌尿器科専門医

泌尿器科 完全予約制	月	火	水	木	金
午前 8:00~11:00	玉城 光由 破碎・生検	山城 清治	大城 琢磨 破碎・生検	大城 琢磨 破碎・生検	玉城 光由 破碎・生検
午後 11:00~16:00	大城 琢磨 破碎・生検	呉屋 真人 破碎	山城 清治	玉城 光由 破碎	



野菜たっぷりカレー風味焼きそば

暑い日が続き、夏バテ気味になっていないでしょうか？

体がだるい時こそ食事をバランス良くとることが大切です。

そこで、今回は簡単に主食、主菜、野菜類が1度に摂れるカレー風味焼きそばを紹介します。

普通の焼きそばだけでは野菜が不足してしまいますが、

このレシピのように野菜をたっぷり使うことで、野菜不足を補えます。

忙しい時、食事を作るのが面倒・・・というような日におすすめです。

調理手順も少なく、一人暮らしの方にもお勧めです。市販の蒸し麺を使用しているので、材料の準備も簡単です。

付属のソースの使用量を半分にし、残りをカレー粉で補っている為塩分も抑えられます。

こしょうやその他の香辛料も減塩料理の調味料として使えるので、他の料理にも応用してみてください。

材 料

- ・蒸し麺 1袋 (150g)
- ・ソース 1/2袋
- ・油 小さじ1杯半
- ・カレー粉 ティースプーン1杯程度
(辛めが好きな方はお好みで増量)
- ・豚ロース 60g
- ・キャベツ 2枚
- ・ニンジン 1/3本
- ・タマネギ 1/4個

お好みでキノコ類を加えてもおいしく仕上がります！野菜の下準備が面倒な方は市販のカット野菜を使用してもいいでしょう…。
このレシピでは1日に必要な野菜のおよそ半分を摂取することができます。

カレー粉は
食塩無添加の物を
選びましょう
味付きカレー粉は食塩が
添加されている場合が
多いです。



作 り 方

- ①麺は袋からざるにあけ、熱いお湯で軽く洗いほぐしておく
- ②豚ロースは一口サイズに切る
キャベツはざく切りにする (手でちぎっても良い)
ニンジンは短冊切りにする
タマネギは薄切りにする
- ③フライパンに油をしき、麺だけを軽く炒める
炒めた麺をいったん取り出す
- ④肉→ニンジン→タマネギ→キャベツの順で炒める
- ⑤全体に火が通ったら②の麺を加える
- ⑥付属のソースを加え全体になじませる
カレー粉を加える
全体になじんだら火を止めて盛りつけ完成！



栄養量：エネルギー 554kcal たんぱく質 21.6g 塩分 2.2g

治験管理室から

お知らせ

新しい治験が始まりました。

この治験についてお聞きになりたい方、参加ご希望の方は、治験管理室にお問い合わせください。

☎(884)5111(内線331)



パージャー病の方へ

パージャー病に対する**医療機器**の治験に参加していただける方を募集しています！

治験とは：厚生労働省から新しい機器として認めてもらうために、機器の効果と安全性を調べる試験です。

この治験にご参加いただける患者さんは

- ・パージャー病と診断された方
- ・20歳以上65歳未満の方
- ・3か月以上禁煙の継続ができています方
- ・4週間ごとに通院が可能な方
- ・足に痛みを感じる方
- ・足の傷の治りが悪い方



*このほかにもいくつかの基準があります。基準に合わない場合はご参加いただけません。ご了承ください。

この治験にご興味のある方・質問のある方は、お気軽に当院循環器内科外来または治験管理室までお声がけください。

◆お問い合わせ先◆
那覇市立病院
循環器内科 比嘉南夫
治験管理室
TEL:098-884-5111(内線:331)



ふれあいポストとは・・・

病院に対する意見・要望・苦情の投書箱のことです。当院では院内各所に「ふれあいポスト」を設置し病院改善や患者サービス向上に努めています。

ご意見

入院中に薬の説明で薬剤師さんが病室に来てくれることや、退院間近になると医療ソーシャルワーカー(MSW)さんが来てくれる。数十年前に入院した時と違い、分かり易くとも助かりました。

回答

このご意見を確認した際に、関係職員一同、喜びを感じ、職務への励みとなりました。薬剤師及び医療ソーシャルワーカー(MSW)は、患者さんへの情報提供及びお薬や入院生活の悩みに積極的に相談を行っております。これからも何かお気づきの点がございましたら、気軽にスタッフへお声かけ下さい。

ご意見

外来を受診した時、会計の待ち時間が長く感じました。会計を待っている人が約20〜30名程いたように思います。私は30分以上待ちました。事務処理能力に問題があると感じます。処理が遅い人は給与面で反映させるなど、効率化を図った方が宜しいと思います。そうするとさらに早く会計処理が出来ると感じます。

回答

この度は、お待たせしまして大変ご迷惑をおかけしました。ご指摘の通り、会計の算定処理について、力不足を痛感しており、対策として担当者への勉強会を開催し、処理能力の向上に努めております。やむを得ない理由で時間が係る場合は、お声かけを行い、ご説明とお詫びを行います。皆様のご理解をよろしくお願い致します。

登

録

医

紹

介

当院と連携してる登録医を紹介しています

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。
お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134（直通） FAX.098-886-5502

みやびクリニック

【診療科】耳鼻いんこう科、糖尿病内科

【検査】終夜睡眠ポルグラフ検査、パルスオキシメーター検査、アクチグラム検査



院長 仲西 雅人



	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 受付	○	○	○	休	○	○
午後 2:00~5:30 受付	○	○	○	休	○	※

休診日：水曜・日曜・祝祭日 ※土曜日は16:30まで
(内科は水曜午前中のみ診療)

☎ 835-9660



南風内科クリニック

【診療科】一般内科・呼吸器内科



院長 照屋 諭



	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00 受付	○	○	○	○	○	○
午後 1:30~5:00 受付	○	○	休	○	○	※

休診日：水曜日午後・日曜・祝祭日
※土曜日は16:00まで

☎ 888-2121



平成27年度 登録医総会・地域医療連携交流会

特別講演



宮崎県立日南病院
臨床検査科 部長
病理診断科 部長
医療連携科 部長
感染管理科 部長

「地域医療連携のこれから
～私たちの役割を考えよう～」

講師：木佐貫 篤 先生

2000年4月から宮崎県立日南病院。2003年から地域医療連携業務に携わる。病院機能評価受審、クリティカルパス等も担当。宮崎医療連携実務者協議会代表世話人、日本医療マネジメント学会評議員（地域医療委員会委員）。全国連携室ネットワークに参加する連携実務者有志で取り組んできた「医療連携の質評価プロジェクト」代表としても活躍。

9/17木

ホテル日航那覇
グランドキャッスル



〈日程〉

18:30 開会・登録医総会
19:00 地域医療連携特別講演
20:00 地域医療連携交流会
21:30 閉会

〈お問合せ〉 地域医療連携室 884-5111 内線 298

※登録医総会・地域医療連携交流会は医療従事者が対象となります。

診療科

内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科
血液内科 腎臓内科 糖尿病内科 内分泌内科
リウマチ科 小児科 精神科 外科
呼吸器外科 消化器外科 小児外科 内視鏡外科
乳腺外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科
泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 救急科
リハビリテーション科 病理診断科 放射線診断科
放射線治療科 麻酔科 歯科口腔外科 歯科

受付時間

8:00～11:00 / 13:00～16:00

※診療科によって異なる



病院理念

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するよう努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院を目指します。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

患者さんの権利

- ・だれでも人権が尊重され良質な医療を公平に受ける権利を持っています。
- ・病気、検査、治療などについて、理解しやすい言葉や方法で十分な説明を受ける権利があります。
- ・十分な説明を受けた上で、治療方法などを自分の意志で選択する権利があります。
- ・診療の過程で得られた個人情報は守られ、プライバシーは可能な限り尊重されます。
- ・自分の診療記録情報の開示を求めることができます。

地方独立行政法人
那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1 TEL 098-884-5111(代)